

# 電線共同溝の点検・補修事例の紹介

- 電線共同溝も適切な維持管理が必要です -

part 2

- |        |  |
|--------|--|
| 1.発注元  | 大阪市 建設局  |
| 2.受注会社 | 通信土木コンサルタント株式会社                                |
| 3.業務名  | 平成30年度 電線共同溝柵等維持管理業務委託（1号業務）                   |
| 4.工期   | 平成31年2月4日～平成31年3月29日                           |
| 5.業務内容 | 電線共同溝柵の点検調査及び損傷箇所の応急処置<br>電線共同溝維持管理に関する基礎資料の更新 |

## ◆電線共同溝の整備

## ◆維持管理の手順 ☆維持管理には管理台帳の作成が必須！

- ①計画策定 ⇒ ②点検実施 ⇒ ③詳細調査（必要時） ⇒  
④診断 ⇒ ⑤対策の検討・実施 ⇒ ⑥記録

計画策定

↓  
設計・工事

↓  
☆管理台帳

↓  
維持管理

## ■主な点検項目

- ・特殊部（本体、首部、ダクト部、付属金物、ケーブル状況）
- ・鉄蓋（周辺との段差、外観状態等）

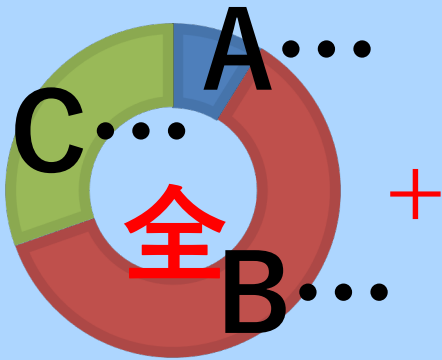
## ■点検結果等

補修判定ランク A：補修実施、B：計画的に補修、C：異常なし

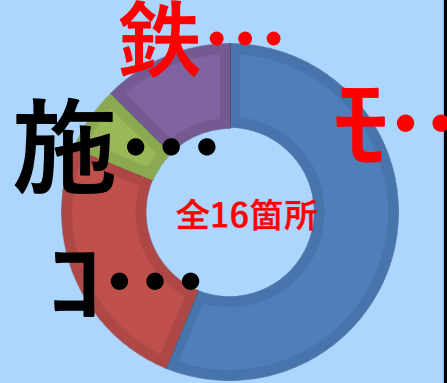
特殊部点検結果

鉄蓋点検結果

応急処理状況



+



## ■応急処置状況

首部モルタル補修

鉄蓋が ぐき補修

